

新境地 しんきようちネクストステージ

相模原市立中野中学校 生徒指導通信

6月1日発行 第3号

緊急事態宣言が解除され、学校生活も再開し、普段の生活をこれから取り戻していくことになります。しかし、新型コロナウイルスがなくなったわけでもないし、まだまだ感染拡大防止に気をつけなければなりません。

実は、人権を守る行動が感染症拡大防止につながります！

偏見や差別による感染症拡大のメカニズム

偏見や差別が広がると、「感染したかも」と思った人が、それをかくすようになり、結果として感染症の拡大につながる。

新型
コロナウイルス
感染症

この新しいウイルスはまだわからないことが多く、まだワクチンもできていないため、不安な気持ちになる。さらにうわさ話やSNSの情報などで不安が大きくなる。

偏見
差別

不安

不安が怖れとなり思考力や判断力が弱まる。ウイルスを遠ざけたいという気持ちから、特定の人たちに「危険」というレッテルを貼り、責めたり排除したりすることで安心感を得ようとする。

図のようなメカニズムで、人々の不安から偏見や差別が生まれ、結果感染拡大につながっていくと言うことです。新型コロナウイルスに関わらず、偏見や差別につながる行為は決して許されないものです。新型コロナウイルス感染症の問題に直面している今こそ、人権を大切にする行動について考えてみましょう。

◎不安な気持ちに向き合おう！

新型コロナウイルス感染症は、他の感染症に比べて分からないことが多く、誰もが不安な気持ちになります。さらにメディア等から得た情報によって、その不安が大きくなり、恐怖に変化することもあります。まずは、自分がリラックスできると思うものに触れ、不安をコントロールしましょう。また、信頼できる大人に自分の気持ちを聞いてもらうことも大切です。

◎偏見や差別につながる行為は絶対にやめよう！

新型コロナウイルス感染症は、無症状の人もいることから、どこで、誰から感染したか分からない場合も多く、誰でもかかる可能性があります。ですから感染した本人を責めることはできません。特定の人たちを根拠もなく責めたりすることは偏見や差別につながりますから、絶対にやめましょう。うわさや根拠のない思い込みでなく、公的機関等の信頼できる情報をもとに行動することが重要です。また、感染者やその家族、医療関係者等の状況や思いを自分のこととして考えることも大切です。

◎インターネット上の情報に注意して、情報を発信する行為に責任を持とう！

インターネット上には不確かな情報が数多くあります。そのような情報やうわさ話を信じてまわりの人に言いふらしたり、SNSで発信・拡散したりする行為は、プライバシーの侵害、ひまう中傷等、人権を侵害することにつながりかねません。情報を発信する自分の行為に責任を持ちましょう。（参考：相模原市教育委員会学校教育課資料）

『障害があったら乗り越えればいい！ きみは勘違いしてるんだ。道を選ぶということは必ずしも歩きやすい安全な道を選ぶってことじゃないんだぞ。』 by ドラえもん